

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫
両団体理事長 半田 晴久
環境技術委員長 坂本 忠彦
専務理事兼事務局長 清原 淳平

環境技術委員会のお知らせ (第334回)

日時 平成28年3月21日(火) 午後1時半～4時

場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第5会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第5会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、「環境問題について、昨今、思うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、南鳥島の排他的経済水域における海底鉱物資源開発の重要性

解説 加藤泰浩東京大学教授

3、『環境技術関連ニュース NO.158』

解説 中島稔科学技術部会長

報告 去る2月23日開催の第333回環境技術委員会は、坂本忠彦委員長が議長を務め行われました。

次に、坂本委員長より、「環境問題について、昨今、思うこと」と題して開会挨拶がありました。ここ最近は、三寒四温といった気候で、寒い日と暑い日が交互に来ている。今のところ異常気象と呼ばれるような現象は起きておらず、一安心である。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース No.157』の解説がありました。今回は、○日本最大の沖縄の珊瑚礁で、海水温の上昇により、97%は白化(衰弱状態)、5割超が死滅。○2050

年までに温室効果ガス80%削減に向け、政府は火力発電の割合を56%までに減らし、再生可能エネルギーと原子力を44%まで向上させる目標である。また、環境省は、2015年度の温室効果ガスが前年比3%減であることも発表した。○畑から発生する温暖化ガス・一酸化二窒素を、微生物を活用して減らす技術。○人工構成でCO₂からメタンを発生させる技術。現在変換効率は0.6%で、10%を目標としている。○政府、熱水鉱床から金属鉱物を採掘する実験を来年から開始。○軍事転用の恐れがある先端技術の海外流出防止策を強化。大学や企業が留学生にデータや内容を提供する際は、経産大臣の許可を要することとした。○2030年に世界は氷河期に突入する可能性は、「97%」であるとする見解を発表。太陽活動の弱体化と南極の氷の増加から裏付けている。○北極は、0℃近くまで気温が上昇し、5万平方キロの氷が失われるなどの異常気象に見舞われた。○環境汚染が水深11キロにまで及んでいるとの研究結果。世界最深部に棲む甲殻類から発見。○水分の少ない多種類の廃棄物からバイオガスを生成する技術。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

次に、横浜市環境科学研究所の田邊孝二調査研究業務担当係長より、「山下公園前海域におけるろ過性生物による水質浄化」と題して以下の趣旨の解説がありました。横浜の海域でも富栄養化が進み、赤潮などが発生して生物が死滅するなどの影響が起きていた。そこで、生物による水質浄化能力に着目した。山下公園では護岸工事などを行ってきたが、それだけでは生物が定着しない。人工干潟を作り、生物の定着を目指した。鉄鋼のブロックなどを浅瀬に沈めると、1週間ほどでヒトデなどが付着するようになった。さらに、ホヤや二枚貝といった濁った水を吸収し、澄んだ水を排出するろ過食性動物の定着を目指した。これらろ過食性生物は1日約2500klの浄化能力があるとのことだ。現在も実験は続いており、2年後の横浜トリアスロン世界大会開催を目標にしている。

★レクチュアにつき、当日会費 会員千円、非会員三千円にご協力を。

次回、3月21日(火)の環境技術委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

新規参加希望者は、予め履歴書をご提出ください。

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール shigeta@jidaisassin.jp